



アイカ工業株式会社

2023年3月期 第2四半期 決算説明会



2022年11月24日
証券コード：4206



1. 2023年3月期 第2四半期 実績

2. 2023年3月期 通期 計画

3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策

4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策

5. 配当について

6. 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

1-1. 連結決算の概要

[百万円]

	2022/3期 上半期		2023/3期 上半期				
	実績	利益率	計画	実績	利益率	伸率	達成率
売上高	98,650	-	112,000	117,704	-	19.3%	105.1%
営業利益	9,425	9.6%	9,500	9,437	8.0%	0.1%	99.3%
経常利益	10,156	10.3%	9,700	10,294	8.7%	1.4%	106.1%
四半期純利益※	6,267	6.4%	6,000	6,436	5.5%	2.7%	107.3%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

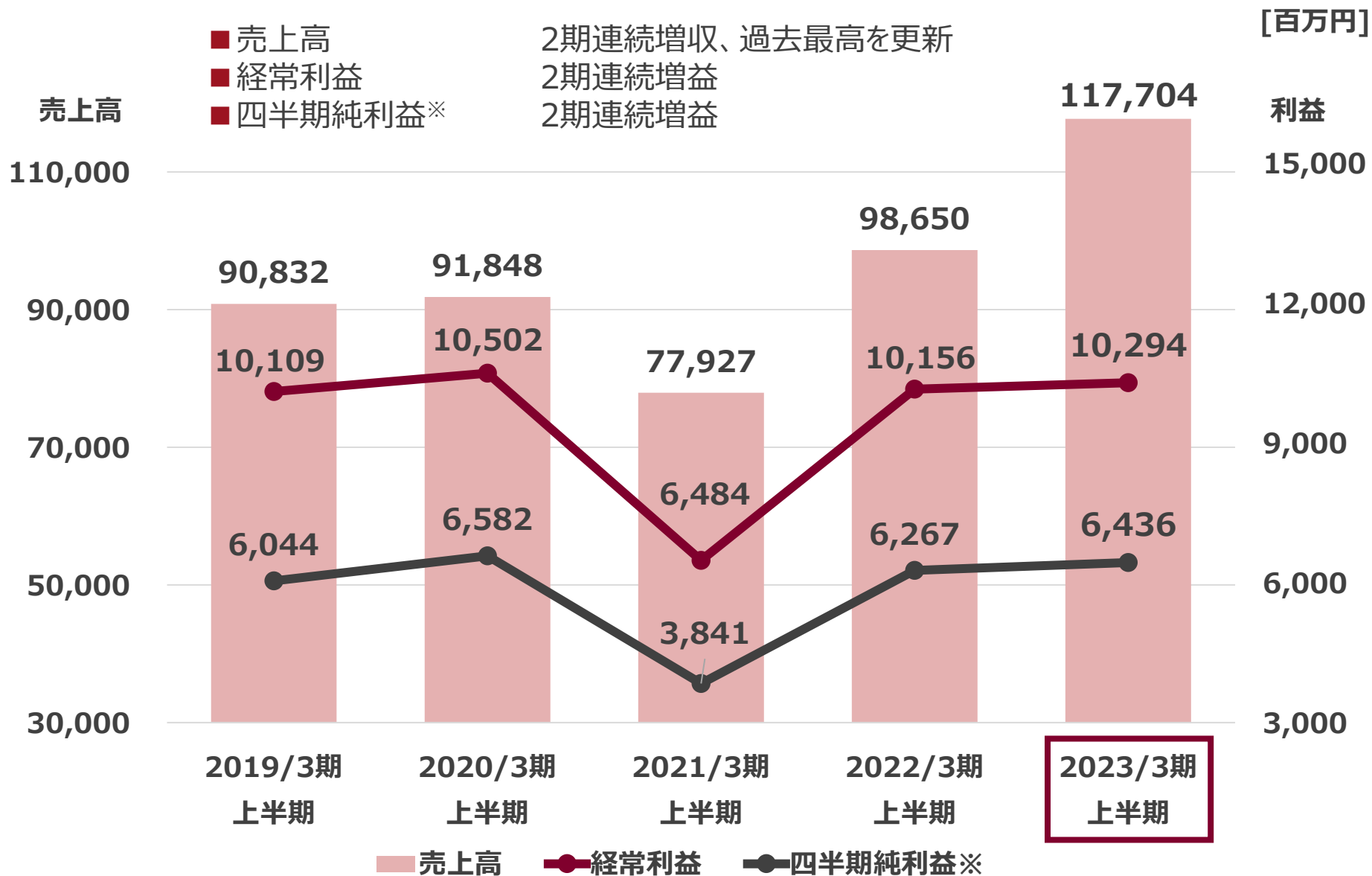
[一株当たり単位：円]

一株当たり四半期純利益	95.98	-	93.81	100.62	-	4.8%	107.3%
-------------	-------	---	-------	--------	---	------	--------

- 連結業績：売上高は過去最高を更新、利益は前年を上回る
- 国内事業：非住宅市場の回復を背景に、化成品・建装建材ともに伸長
- 海外事業：AAP社が大幅に伸長、アイカアドテック社の新規連結も寄与
建装建材セグメントは中国ロックダウンの影響受けるも他地域で伸長

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

1-2. 連結決算の推移



※親会社株主に帰属する四半期純利益

1-3. 主要項目の状況

	2021/3期 上半期	2022/3期 上半期	2023/3期 上半期
研究開発費	15.7億円	16.4億円	17.2億円
減価償却費	24.3億円	28.7億円	31.0億円
設備投資額	31.1億円	22.2億円	44.3億円
借入金残高	72.0億円	93.1億円	145.2億円
期末人員	4,780人	4,954人	4,971人
（国内）	1,641人	1,610人	1,608人
（海外）	3,139人	3,344人	3,363人

1-4. セグメント別業績

[百万円]

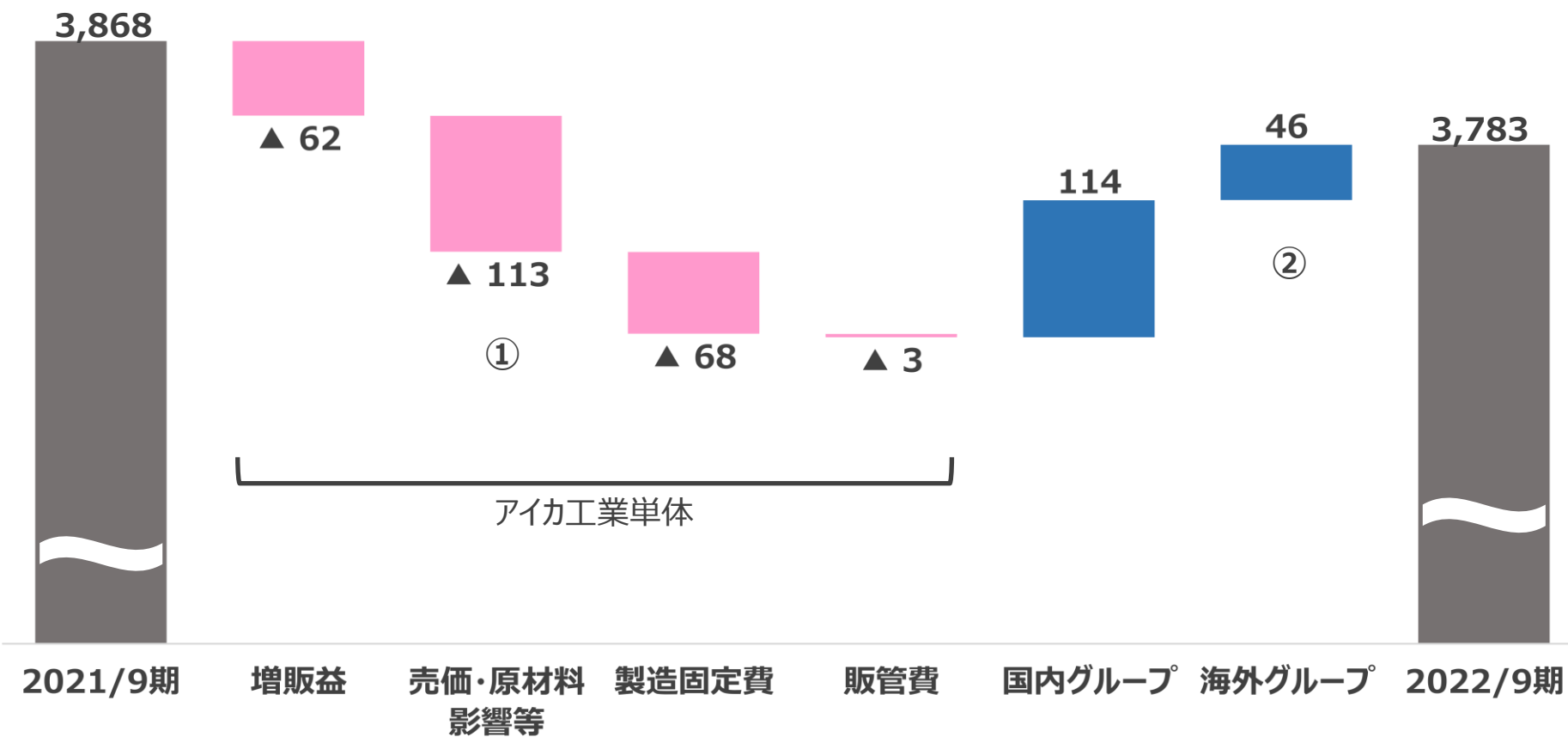
	売上高					営業利益						
	2022/3期 上半期 実績	2023/3期 上半期 実績	伸率	2023/3期 上半期 計画	達成率	2022/3期 上半期 実績	2023/3期 上半期 実績	伸率	2023/3期 上半期 計画	達成率		
化成品	56,306	71,654	27.3%	67,500	106.2%	3,868	3,783	▲2.2%	3,600	105.1%	金額	
						6.9%	5.3%	-	5.3%	-	利益率	
建装建材	42,344	46,050	8.8%	44,500	103.5%	7,170	7,459	4.0%	7,600	98.2%	金額	
						16.9%	16.2%	-	17.1%	-	利益率	
						(配賦不能営業費用)	▲1,612	▲1,804	11.9%	▲1,700	106.2%	金額
合計	98,650	117,704	19.3%	112,000	105.1%	9,425	9,437	0.1%	9,500	99.3%	金額	
						9.6%	8.0%	-	8.5%	-	利益率	

1-5. セグメント別海外売上高

[億円]

	2022/3期 上半期実績		2023/3期 上半期実績		
	売上高	海外売上比率	売上高	伸率	海外売上比率
化粧品	406.7	72.2%	537.9	32.2%	75.1%
建装建材	76.8	18.2%	83.5	8.7%	18.1%
合計	483.6	49.0%	621.4	28.5%	52.8%

1-6. 化成品セグメント 営業利益実績



① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 ▲1,645
 価格転嫁・コストダウン +1,426

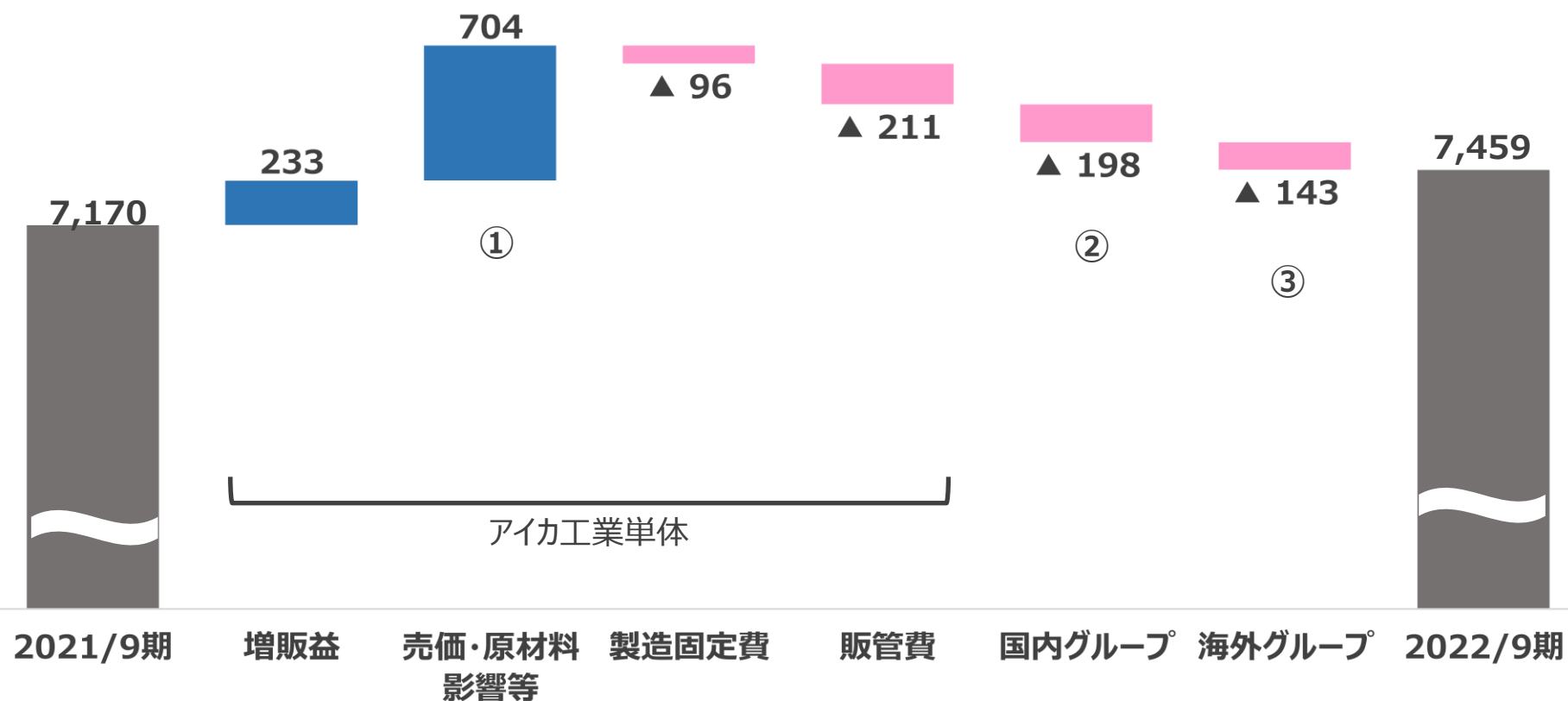
② 海外グループ
 AAP社 +234
 EMC社 ▲161

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社

1-7. 建装建材セグメント 営業利益実績



① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 ▲ 684
 価格転嫁・コストダウン +1,461

② 国内グループ
 アイカテック建材 ▲193

③ 海外グループ
 ウィルソナート・タイ社 +131
 ALIP社 + 87
 アイカチャイナ ▲476

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ALIP社：アイカ・ラミネーツ・インディア社

※アイカチャイナ：ウィルソナート上海社+ソイス社

1. 2023年3月期 第2四半期 実績

2. 2023年3月期 通期 計画

3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策

4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策

5. 配当について

6. 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

2-1. 2023年3月期 経営環境予測

国内建設市場

※アイカ需要期へタイムラグ調整済み

2022年3月期 (実績)	住宅 : + 5.2%	非住宅 : ▲ 1.0%
2023年3月期 (期初予測)	住宅 : ▲ 2.4%	非住宅 : + 8.4%
2023年3月期 (最新予測)	住宅 : ▲ 0.6%	非住宅 : + 8.1%

海外市場

景気停滞からの持ち直しが続くものの、中国ゼロコロナ政策など先行きは不透明

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は僅か

2022年3月期 (実績)	1USD = 109.84円
2023年3月期 (期初予測)	1USD = 120.00円
2023年3月期 (最新予測)	1USD = 130.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

	上半期	通期
2022年3月期	43,000円/kl (実績)	50,000円/kl (実績)
2023年3月期	75,500円/kl (実績)	76,750円/kl (最新予測)

2-2. 2023年3月期計画

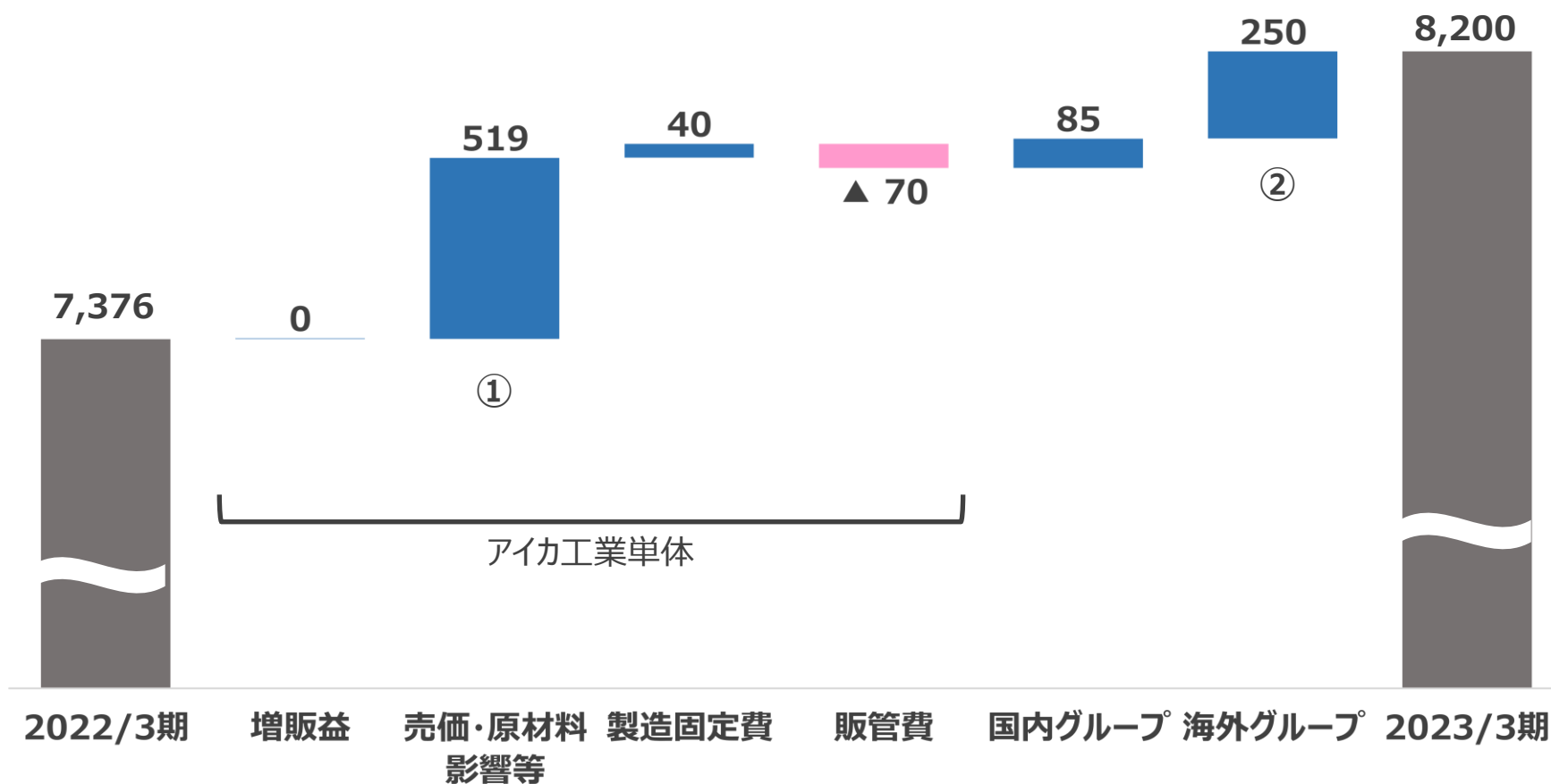
	[百万円]					
	2022/3期 実績		2023/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増減額
売上高	214,514	-	237,000	-	10.5%	22,485
営業利益	20,348	9.5%	21,500	9.1%	5.7%	1,151
経常利益	21,840	10.2%	22,000	9.3%	0.7%	159
当期純利益※	13,117	6.1%	13,300	5.6%	1.4%	182
ROE	9.4%	-	9%以上	-	-	-
ROA	5.9%	-	5.4%	-	-	-
一株当たり純利益	200.90円	-	207.95円	-	-	-
一株当たり株主資本	2,223.98円	-	2,300.00円	-	-	-
研究開発費	34.5億円	-	37.0億円	-	-	-
減価償却費	64.1億円	-	70.0億円	-	-	-
設備投資額	71.1億円	-	100.0億円	-	-	-

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2-3. 2023年3月期 通期セグメント別業績計画

[百万円]

	売上高			営業利益			
	2022/3期 実績	2023/3期 計画	伸率	2022/3期 実績	2023/3期 計画	伸率	
化成品	122,323	139,000	13.6%	7,376	8,200	11.2%	金額
				6.0%	5.9%	—	利益率
建装建材	92,191	98,000	6.3%	16,379	17,000	3.8%	金額
				17.8%	17.3%	—	利益率
				▲3,407	▲3,700	8.6%	金額
				(配賦不能営業費用)			
合計	214,514	237,000	10.5%	20,348	21,500	5.7%	金額
				9.5%	9.1%	—	利益率



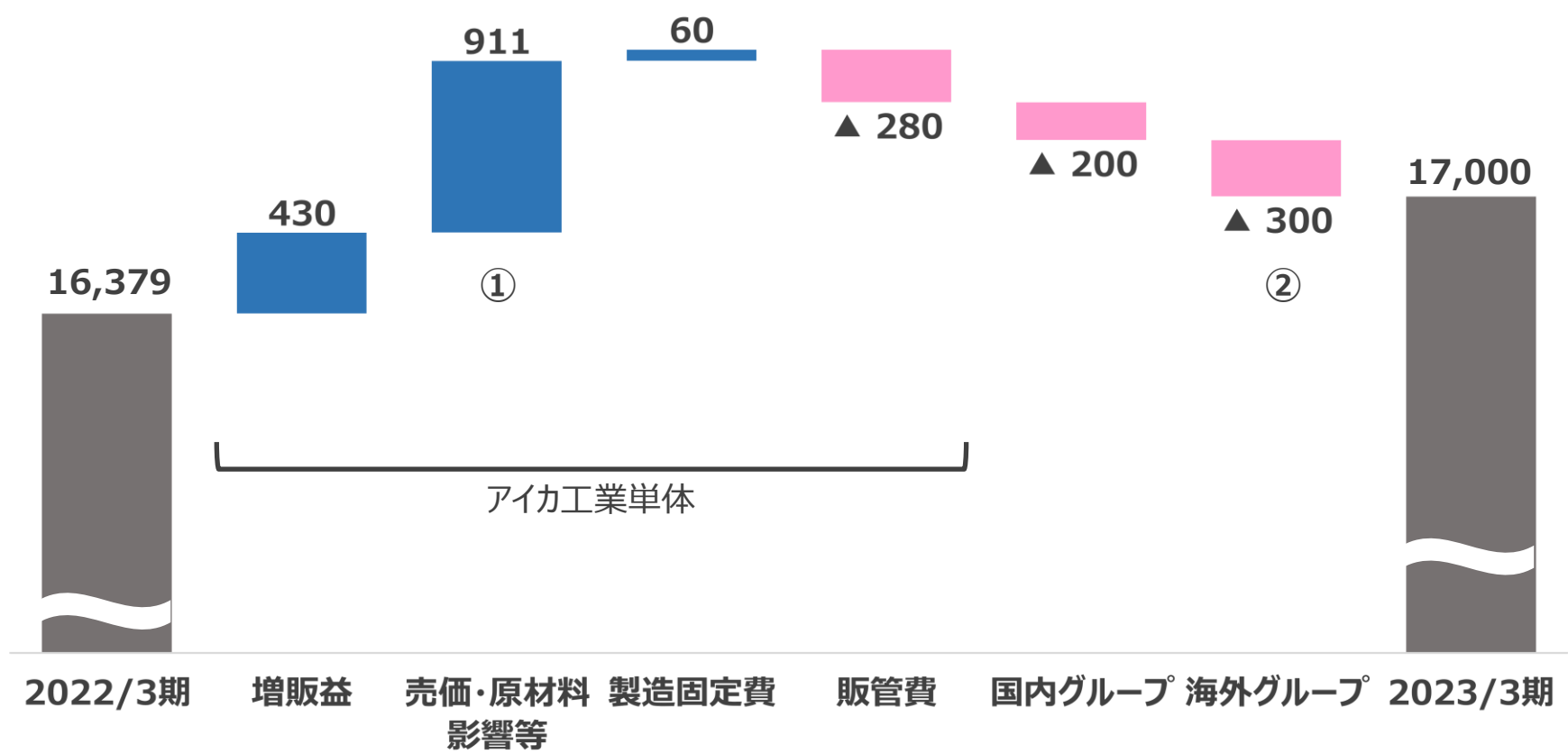
① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 ▲2,900
 価格転嫁・コストダウン +3,369

② 海外グループ
 AAP社 +250

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

2-5. 建装建材セグメント 営業利益計画



① 売価・原材料影響等
 原材料影響等 ▲1,100
 価格転嫁・コストダウン +2,011

② 海外グループ
 ウィルソナート・タイ社 +200
 ALIP社 +120
 アイカチャイナ ▲775

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益 ※ALIP社：アイカ・ラミネーツ・インディア社 ※アイカチャイナ：ウィルソナート上海社+ソイス社

1. 2023年3月期 第2四半期 実績
2. 2023年3月期 通期 計画
- 3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策**
4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策
5. 配当について
6. 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

3-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績および計画

[億円]

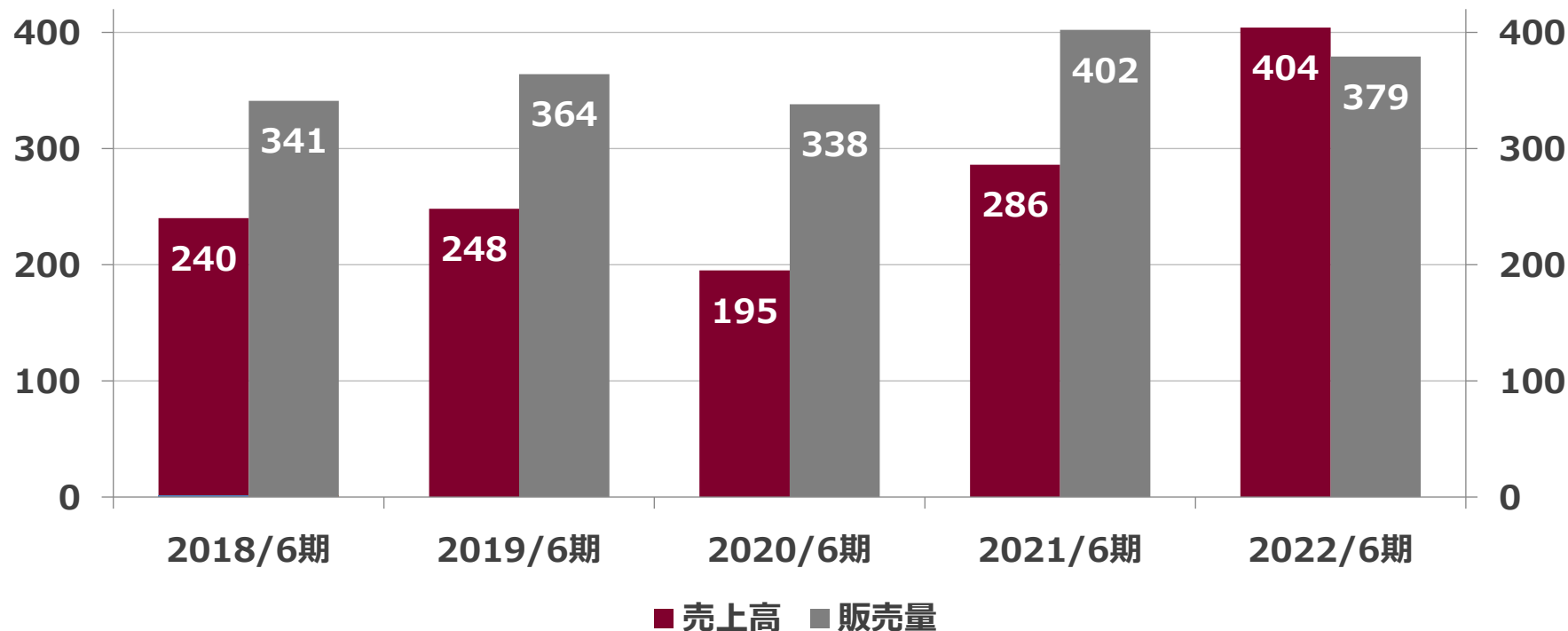
	2022/3期 (実績)		2023/3期 (実績・計画)			
	上半期	通期	上半期 実績	伸率	通期 計画	伸率
接着剤	354.3	785.6	485.5	37.0%	933.0	18.8%
(うちAAP社)	(286.3)	(643.2)	(404.3)	(41.2%)	(774.4)	(20.4%)
建設樹脂	44.3	92.2	47.9	8.0%	97.2	5.3%
機能材料	105.2	217.0	115.9	10.1%	236.9	9.2%
その他	59.1	128.3	67.1	13.6%	122.9	▲4.2%
合計	563.0	1,223.2	716.5	27.3%	1,390.0	13.6%

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

3-2. 化成品セグメント 売上実績 (AAP社)

売上[億円]

販売量[千トン]



AAP社：売上+41% 販売量▲6%

価格転嫁、新規連結効果、為替影響により増収
販売量は中国・インドネシア・マレーシアなどで伸長もタイ・ベトナムで減少
竹材用フェノール樹脂、前期に新規連結したアイカアドテック社は好調

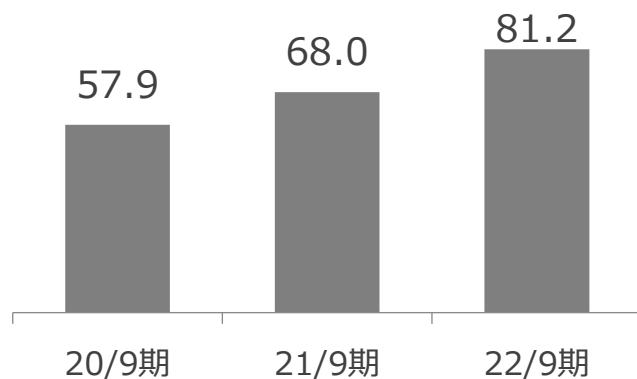
※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

3-3. 化成品セグメント 売上実績 (AAP社以外)

[億円]

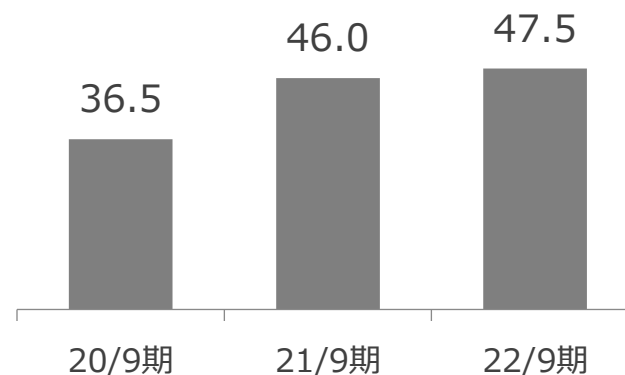
接着剤 (AAP以外)

各種接着剤・フェノール樹脂など



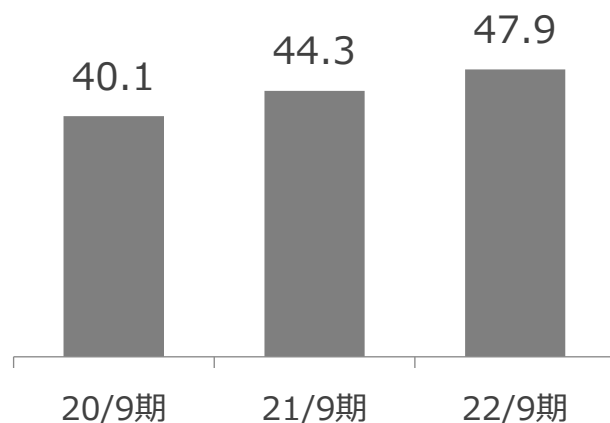
機能材料 (国内)

ホットメルト・機能性アクリル・UV樹脂・有機微粒子など



建設樹脂

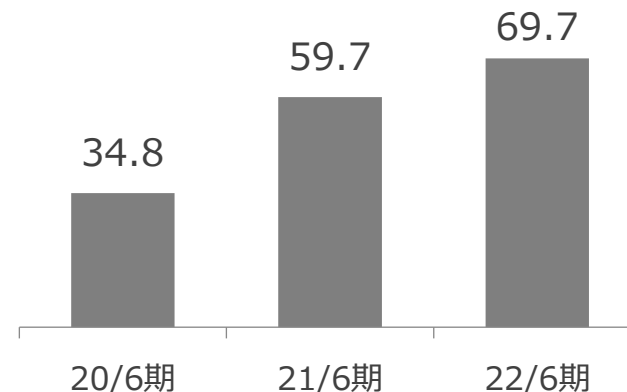
塗壁材・塗床材・補修補強材



EMC社※

ウレタン樹脂・UV樹脂など

※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社



3-4. 化成品セグメント 方策 (AAP社)

AAP社

■ アイカドンナイ社の生産設備投資

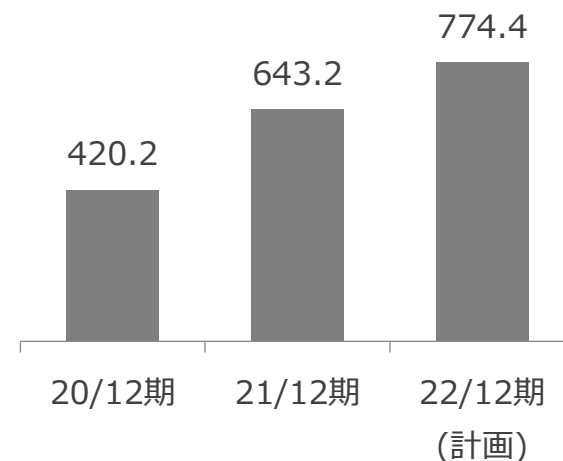
- ・ 合板向けフェノール樹脂の生産を新規開始
- ・ 将来的にベトナムNo.1メーカーへ
- ・ 設備投資額 約3億円
- ・ 2023年1-3月 稼働開始予定

■ アイカハチャイ社の研究設備投資

- ・ パーチクルボード、MDF用樹脂の研究開発拠点を新たに設置
- ・ 研究開発のスピードアップ、顧客対応力向上
- ・ 設備投資額 約3億円
- ・ 2023年12月 完成予定



AAP社の売上推移[億円]



積極的な設備投資により、将来的な販売量増加・新規顧客獲得へ

AAP社 通期売上計画 : 774.4億円 (前年比 +20.4%)

※AAP社 : アイカ・アジア・パシフィック社

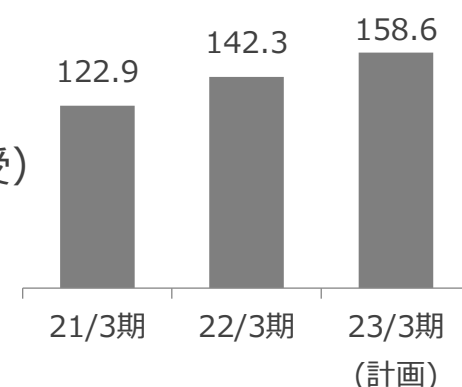
3-5. 化成品セグメント 方策（接着剤・建設樹脂）

接着剤(AAP社以外)

- 梱包用ホットメルトの拡大・実績化（AAP社、アドテック社シナジー）
- 接着剤用、摩擦材用、砥石用途フェノール樹脂の実績拡大（DIC社より譲受）
- 利益創出（売価転嫁、品番統合）

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

接着剤国内の売上推移[億円]

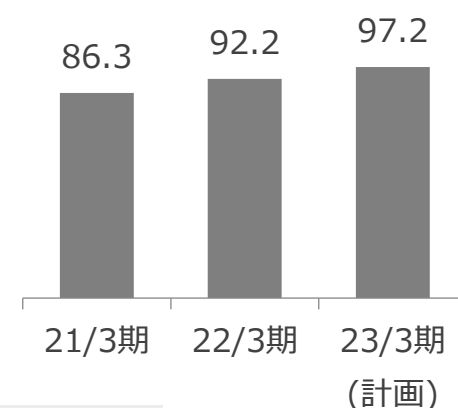


接着剤(AAP社以外) 通期売上計画：158.6億円(前年比 + 11.5%)

建設樹脂

- 透湿外断熱システム「パッシブウォール」の拡販
- 改修向け塗り壁材の拡販強化（ジョリパットリミュール工法等）
- 塗り床材、補修補強材の設計活動強化
- 市場への売価転嫁

建設樹脂の売上推移[億円]



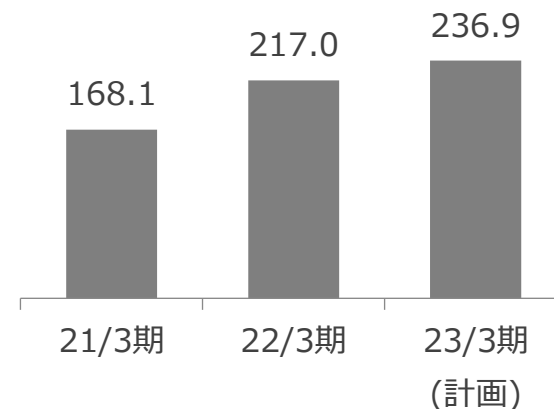
建設樹脂 通期売上計画：97.2億円(前年比 + 5.3%)

3-6. 化成品セグメント 方策（機能材料）

機能材料（国内）

- ホットメルトの拡販（自動車用途、建材用途）
- 機能性フィルムの拡大
（車載ディスプレイ用反射防止フィルム、3次元加飾フィルム）

機能材料の売上推移[億円]



EMC社

- 大園工場のシナジー創出、UVコーティング事業拡大
 - ・ 2021年7月にコベストロレジン社より譲り受け、販売好調
- EMC社の南投工場にてUVモノマーの第3製造ライン設置
 - ・ 大園工場で製造しているUVコーティング剤の原材料としても南投工場のモノマーを使用
 - ・ 顧客のニーズの高まりにより、生産能力を1.6倍に拡大
 - ・ 2024年1月 稼働開始予定



UVコーティング剤 使用例（ラベル用）

機能材料 通期売上計画：236.9億円（前年比+9.2%）

※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社

1. 2023年3月期 第2四半期 実績
2. 2023年3月期 通期 計画
3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策
- 4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策**
5. 配当について
6. 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

4-1. 建装建材セグメント 商品群別売上実績および計画

[億円]

	2022/3期 (実績)		2023/3期 (実績・計画)			
	上半期	通期	上半期 実績	伸率	通期 計画	伸率
メラミン化粧板	131.2	289.3	141.0	7.5%	314.1	8.6%
ボード フィルム等	54.0	114.5	58.3	8.0%	120.0	4.8%
セラール	95.5	209.1	101.4	6.2%	218.8	4.6%
不燃建材	36.9	79.0	38.5	4.4%	81.0	2.5%
カウンター ポストフォーム	83.9	182.1	98.3	17.1%	200.5	10.1%
建具 インテリア建材	21.8	47.5	22.7	4.3%	45.6	▲4.2%
合計	423.4	921.9	460.5	8.8%	980.0	6.3%

4-2. 建装建材セグメント 実績（国内）

■ 国内建設市場の市場環境

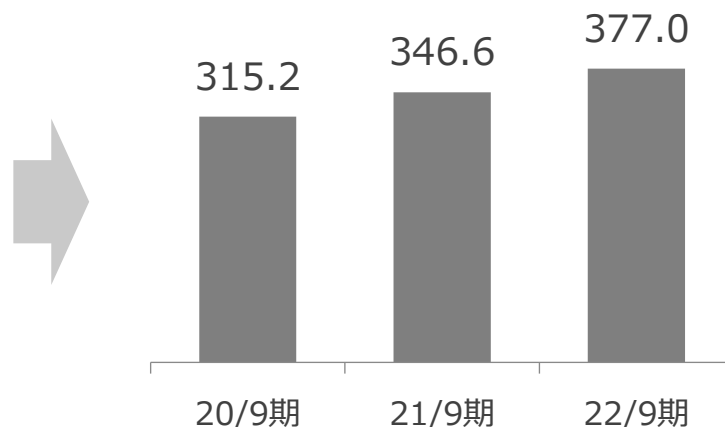
上半期：住宅は前期好調の反動、非住宅は回復

上半期予測 住宅：▲1.6%、非住宅：+12.9%

上半期実績 住宅：▲0.3%、非住宅：+12.6%

※当社需要期へタイムラグ調整済み

国内売上の推移[億円]



■ 2023年3月期上半期 好調であった商品

洗面化粧台 **スマートサニタリー**



高級人造石 **フィオレストーン**



クチーナ大阪ショールーム
設計/クチーナ大阪、(株)モーリショップ

4-3. 建装建材セグメント 方策（国内）

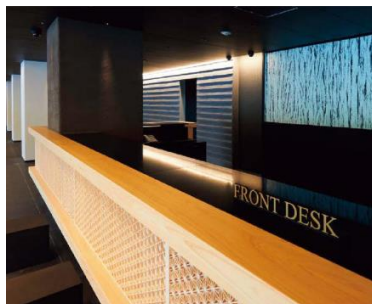
AS商品の拡販

抗ウイルス建材 **ウイルテクト**



群馬大学共同教育学部附属小学校 南校舎
設計/株式会社 勝山工務店
施工/株式会社 サンビック

高級人造石 **フィオレストーン**



■ 抗ウイルス建材「ウイルテクト」の拡販

- ・ 上半期売上：5.1億円（前年比+49%）
- ・ オフィス、医療、教育施設への設計活動強化

■ ストーン事業製品

（人造石＋人工大理石＋セラミックタイル）の拡販

- ・ 上半期売上：32.2億円（前年比+22%）
- ・ ゼネコンへの設計活動強化

住宅向け商品の強化

■ 洗面化粧台「スマートサニタリー」の拡充

- ・ 上半期売上：4.6億円（前年比+85%）
- ・ アイテム拡充による新規ユーザー獲得

■ メラミン化粧板貼りエッジ塗装カウンター

「バリューエッジカウンター」の強化

- ・ 上半期売上：7.6億円（前年比+7.1%）
- ・ 新規カタログ「おうちプラスキッチンカウンター」による拡販



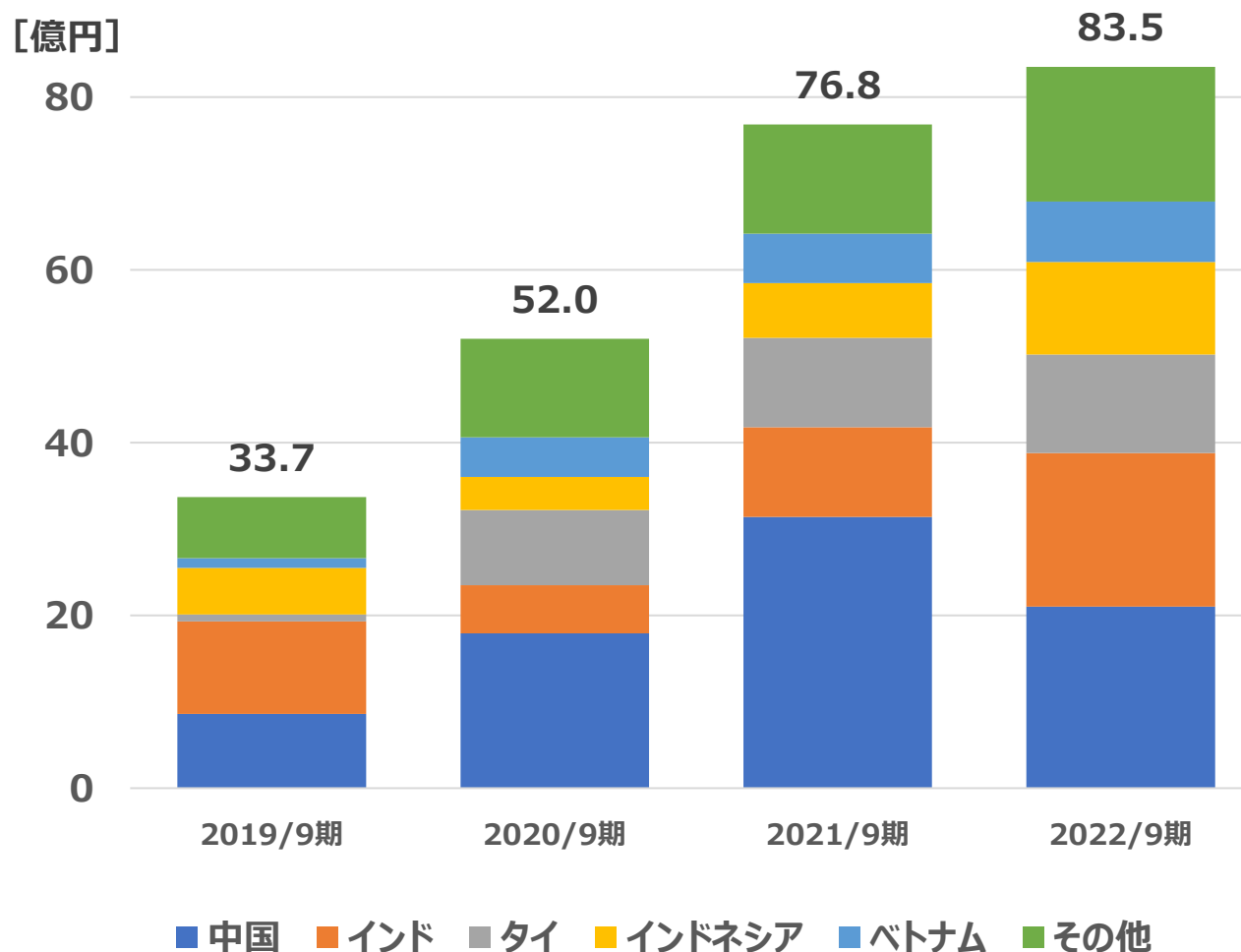
洗面化粧台
スマートサニタリー



メラミン化粧板貼りエッジ塗装カウンター
バリューエッジカウンター

4-4. 建装建材セグメント 実績（海外）

建装建材セグメント・海外事業の上半期売上推移



中国はロックダウンの影響を受けるも、その他の地域で化粧板の販売が増加
なかでもインド・インドネシアで大幅伸長

4-5. 建装建材セグメント 方策（海外）

ジャパンテクノロジーの海外グループ会社への展開加速

- 中国・タイ・ベトナム・インドネシア・インドの各生産拠点を活用した地産地消型ビジネスの推進
- 生産体制増強・効率化（中国・インド・ベトナム）
- ウィルソナート社の販路を活用したアイカの高付加価値商品の投入・ブランド浸透

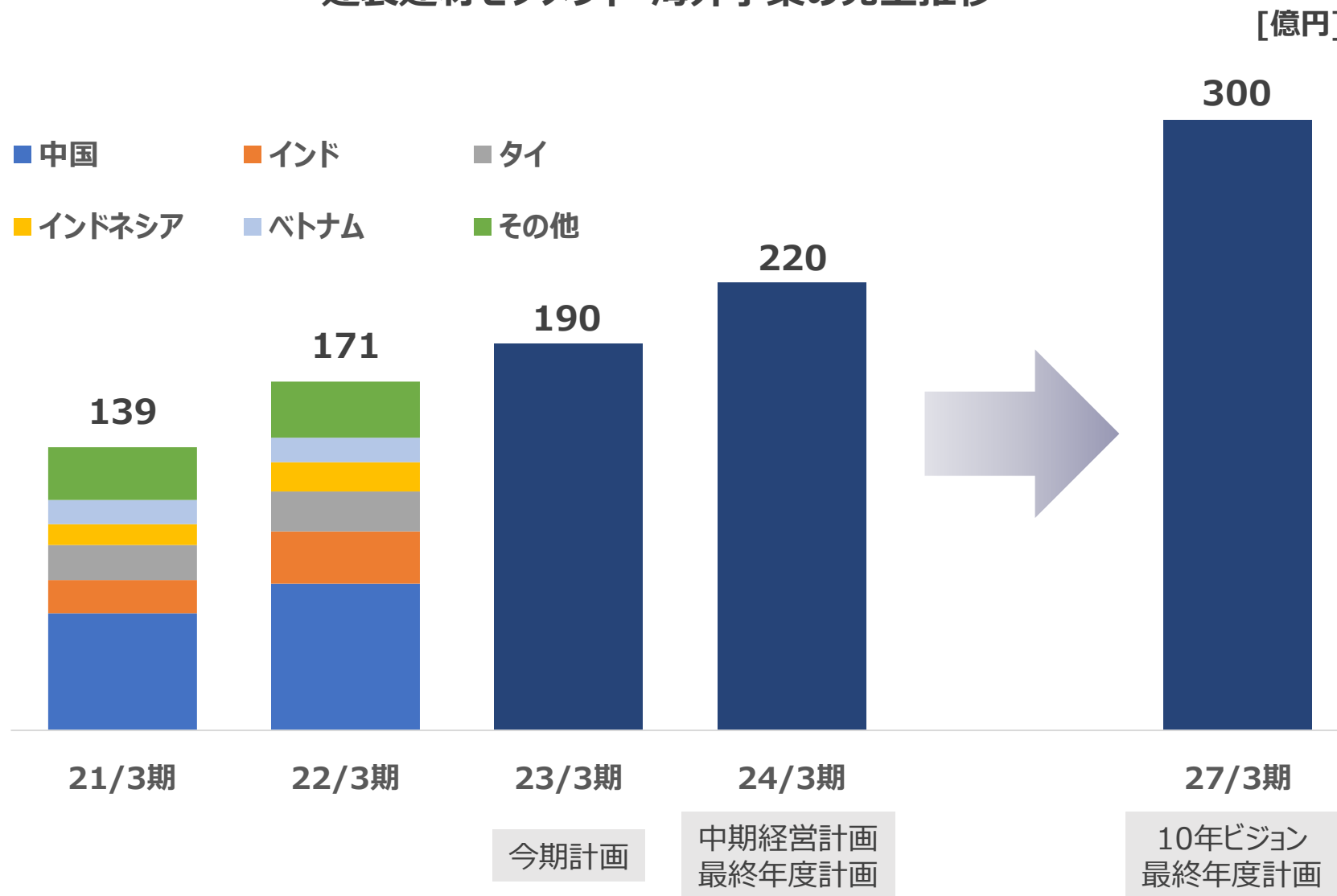
アイカ・ラミネーツ・ベトナム社（ALV）の設備投資



- 化粧板の製造設備を増設
- ALV社の生産能力を2倍に引き上げ
- アジア地域の需要増加に対応
- 設備投資額 約12億円
- 2024年1月 稼働開始予定

4-6. 建装建材セグメント 売上計画 (海外)

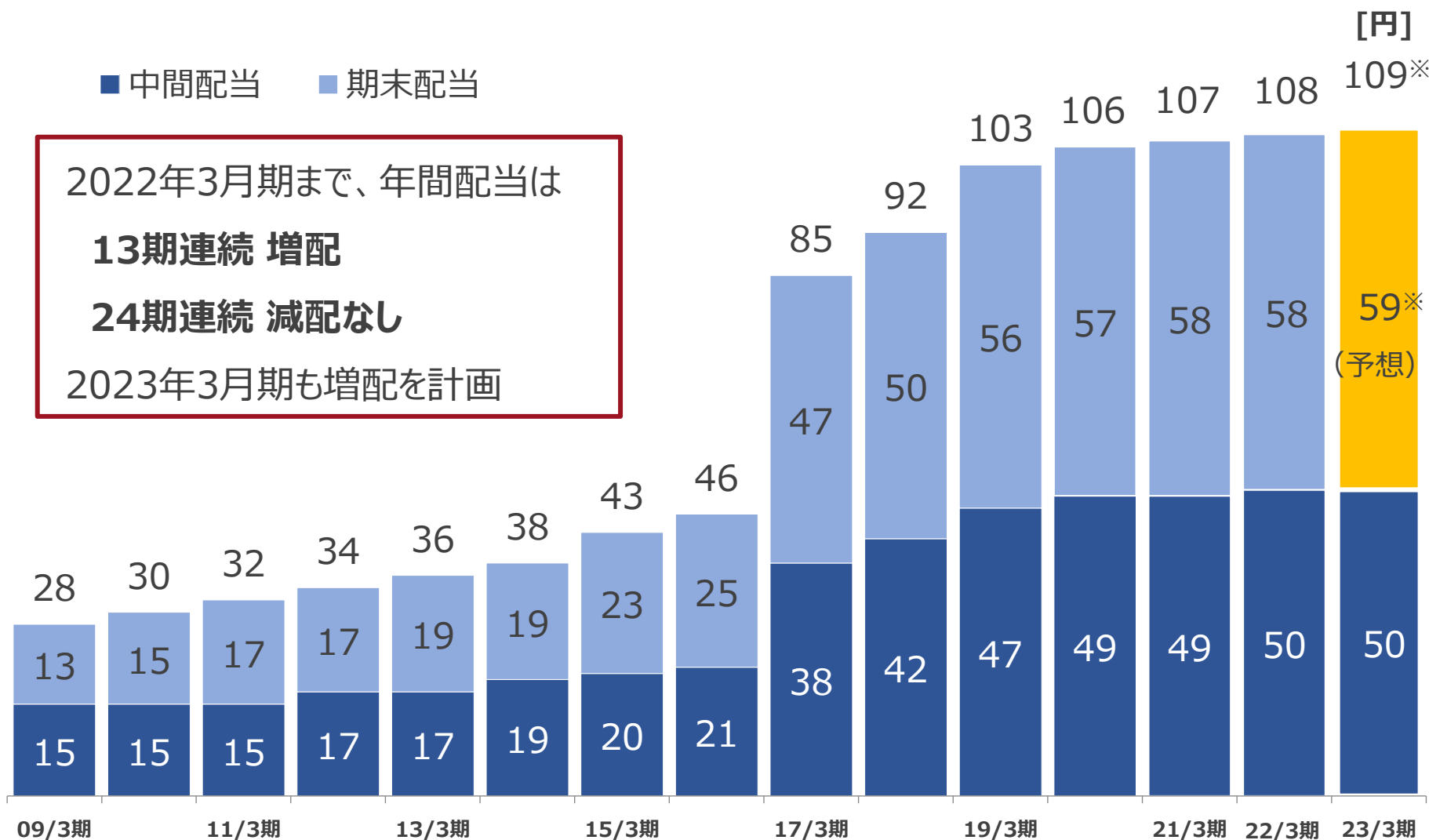
建装建材セグメント・海外事業の売上推移



1. 2023年3月期 第2四半期 実績
2. 2023年3月期 通期 計画
3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策
4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策
- 5. 配当について**
6. 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

5. 配当について

配当性向50%を目処に安定的な株主還元



※2023/3期の配当は現時点の予想値です。

1. 2023年3月期 第2四半期 実績
2. 2023年3月期 通期 計画
3. 化成品セグメントの商品群別実績および方策
4. 建装建材セグメントの商品群別実績および方策
5. 配当について
6. **中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗**

6-1. 中期経営計画(2022/3期-2024/3期) 進捗

[億円]

項目	前中計	1年目	2年目			3年目
	2021/3期 (実績)	2022/3期 (実績)	2023/3期 上半期 (実績)	2023/3期 通期 (期初計画)	2023/3期 通期 (最新計画)	2024/3期 (策定時計画)
R O E	8.1%	9.4%	—	9%以上	9%以上	10%を目処
海外+機能材料 売上高 ^{※1}	812	1,147	670	1,250	1,330	1,150
A S 商品 ^{※2} 売上高 ^{※1}	155	169	87	180	180	210
経常利益	184	218	102	220	220	240
売上高	1,746	2,145	1,177	2,250	2,370	2,400

※1 連結消去前単純合算売上高

※2 AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品

6-2. 中期経営計画 マテリアリティ・トピックス

人材育成・組織開発

■ 部門別、階層別スキルリストの作成・運用

- ・ アイカ工業におけるスキルリスト案完成。グループ全体のサクセッションプランの策定完了

■ 従業員満足度調査のグループ全社での実施・活用

- ・ アイカ工業および国内グループ会社にて調査実施
- ・ 海外グループ会社については今年中に実施予定

気候変動対応

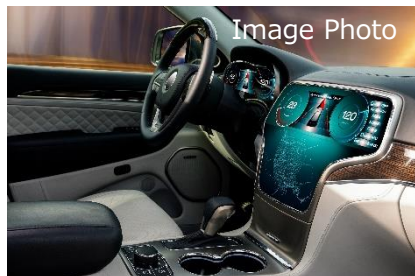
■ TCFD提言に基づく情報開示拡充に向けて

- ・ 気候変動シナリオ分析を実施、定性評価が完了
- ・ 今年度中に財務インパクト評価を実施予定

■ インターナルカーボンプライシング(ICP)制度導入

- ・ 2022年4月より、CO₂削減に寄与する設備投資を対象に導入
- ・ ICP単価は、設備の導入時期および導入設備の耐用年数によって変動する仕組み

6-3. 中期経営計画 マテリアリティ・トピックス



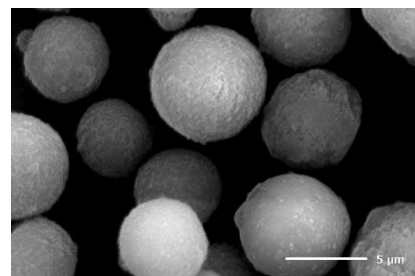
■ 自動車内装向け3次元加飾フィルムをバイオマス化

- ・ バイオマス度30～40%を実現しており、地球環境にやさしい商品
- ・ 塗装代替(= 3次元加飾フィルム)で自動車製造工程におけるCO₂排出量を削減

■ リグニンフェノール樹脂を使用した合板・LVL用接着剤を実用化

- ・ 植物由来の非可食性バイオマス原料リグニンを有効活用
- ・ バイオマスマーク(バイオマス度15%)を取得。サステナブルなものづくりに貢献

※ LVL : Laminated Veneer Lumber、単板積層材



■ 有機微粒子「ガンツパール」に3種のサステナブルタイプを追加

- ・ 植物由来・天然物由来原料を使用
- ・ 地球環境に配慮した化粧品づくりに貢献

■ バイオマス原料を使用したホットメルト粘着剤を開発

- ・ 溶剤不使用の粘接着剤「アイカメルト」シリーズがさらに進化
- ・ バイオマス度50%。非可食性のバイオマス原料を使用



Image Photo

Change & Grow 2400



アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。